

耐震診断現地調査表 (一般診断用)

特定非営利活動法人

日本住宅性能調査協会

■この調査表は国土交通省監修の「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づいて製作されたものです。

地域コード	診断番号	調査員名	登録番号	現調日 平成 年 月 日 ()
調査物件名	様 邸			TEL FAX
物件所在地	(〒 -) 都 道	区 市	府 県	郡 町

● 建物形状

構 法	<input type="checkbox"/> 木造軸組	<input type="checkbox"/> 2×4	<input type="checkbox"/> 伝統工法	<input type="checkbox"/> 混構造(1F RC,S)	<input type="checkbox"/> その他
建物形状	<input type="checkbox"/> 平屋建て	<input type="checkbox"/> 2階建て	<input type="checkbox"/> 総2階建て	<input type="checkbox"/> 3階建て	<input type="checkbox"/> その他
屋根形状	<input type="checkbox"/> 切妻	<input type="checkbox"/> 寄棟	<input type="checkbox"/> 入母屋	<input type="checkbox"/> 片流れ	<input type="checkbox"/> 陸屋根

● 立地条件 [該当する項目の記入欄に○を記入し、必要に応じて注意事項等を指摘する。]

地 盤	施されている対策の程度	記入欄
よ い		()
普 通		()
悪 い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表面の地盤改良を行っている	()
	杭基礎である	()
	特別な対策を行っていない	()

地 形	施されている対策の程度	記入欄
平坦・普通		()
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁	()
	石積	()
	特別な対策を行っていない	()

● 基礎の形式 [該当する項目の記入欄に○を記入し、必要に応じて注意事項等を指摘する。]

基 礎 形 式	状 態	記入欄
鉄筋コンクリート基礎	健全	()
	ひび割れが生じている	()
無筋コンクリート基礎	健全	()
	ひび割れが生じている	()
玉石基礎	足固めあり	()
	足固めなし	()
その他の基礎 (ブロック基礎など)		()

● 屋根仕上 [該当する項目の記入欄に○を記入し、必要に応じて注意事項等を指摘する。]

仕 様	記入欄
軽い建物 [石綿スレート板、鉄板葺]	()
重い建物 [椽瓦葺]	()
非常に重い建物 [土葺瓦屋根]	()

● 外壁仕上 [外壁タイプ No.を図面に記載してください。 記入例 タイプ1の場合 ① と記入]

外壁タイプ	仕 様	仕 様 (下の工法の種類の番号記入 筋かいは除く)
外壁タイプ1 (G-1)	仕 上	()
	下 地	()
外壁タイプ2 (G-2)	仕 上	()
	下 地	()
外壁タイプ3 (G-3)	仕 上	()
	下 地	()

● 内壁仕上 [内壁タイプ No.を図面に記載してください。 記入例 タイプ1の場合 1 と記入]

内壁タイプ	仕 様	仕 様 (下の工法の種類の番号記入 筋かいは除く)
内壁タイプ1 (K-1)	仕 上	()
	下 地	()
内壁タイプ2 (K-2)	仕 上	()
	下 地	()
内壁タイプ3 (K-3)	仕 上	()
	下 地	()
内壁タイプ4 (K-4)	仕 上	()
	下 地	()

● 筋かい [筋交いの種類を図面に記載してください。筋かいマークは以下を参照]

筋かいの種類	筋かいのマーク例	() はたすき掛け
筋かい (鉄筋 9φ) 端部金物なし	下  上	()
筋かい (木材 15×90 以上) 端部金物なし	下  上	()
筋かい (木材 30×90 以上) 端部金物なし	下  上	()
筋かい (木材 45×90 以上) 端部金物なし	下  上	()
筋かい (木材 90×90 以上) 端部金物なし	下  上	()
筋かい (鉄筋 9φ) 端部金物あり	下  上	()
筋かい (木材 15×90 以上) 端部金物あり	下  上	()
筋かい (木材 30×90 以上) 端部金物あり	下  上	()
筋かい (木材 45×90 以上) 端部金物あり	下  上	()
筋かい (木材 90×90 以上) 端部金物あり	下  上	()

【工法の種類】

NO.	工法の種類		壁強さ倍率 (k N/m)
1	土塗り壁	塗厚 5cm未満	1.7
2		塗厚 5cm以上～7cm未満	2.2
3		塗厚 7cm以上～9cm未満	3.5
4		塗厚 9cm以上	3.9
5	筋かい（鉄筋 9φ）		1.6
6	筋かい（木材 15×90 以上）	端部金物あり	1.6
7		端部金物なし	1.4
8	筋かい（木材 30×90 以上）	端部金物あり	2.4
9		端部金物なし	1.9
10	筋かい（木材 45×90 以上）	端部金物あり	3.2
11		端部金物なし	2.2
12	筋かい（木材 90×90 以上）	端部金物あり	4.8
13		端部金物なし	2.9
14	木ずりを釘打ちした壁		1.1
15	構造用合板		6.0
16	構造用パネル（OSB）		5.7
17	硬質木片セメント板		4.1
18	フレキシブルボード		3.5
19	石綿パーライト板		3.4
20	石綿ケイ酸カルシウム板		2.9
21	炭酸マグネシウム板		2.8
22	パルプセメント板		2.7
23	シーリングボード		2.0
24	ラスシート		2.7
25	モルタル塗り壁		1.6
26	窯業系サイディング張り		1.7
27	石膏ボード張り（大壁）		1.2
28	化粧合板（厚 5.5：大壁）		1.4
29	構造用合板（非耐力壁仕様）		2.5
30	石膏ボード張り（真壁）		1.6
31	化粧合板（厚 5.5：真壁）		1.0
32	仕様がわからない壁		1.9

● 接合部の仕様 [接合部の種類を図面に記載してください。接合部マークは以下を参照]

接合部の種類	接 合 部 仕 様	マ ー ク
接合部Ⅰ	平 12 建告 1460 号に適合する仕様	Ⅰ
接合部Ⅱ	羽子板ボルト、山形プレート VP、かど金物 CP・T、CP・L、込み栓	Ⅱ
接合部Ⅲ	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 (構面の両端が通し柱の場合)	Ⅲ
接合部Ⅳ	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等	Ⅳ

● 床仕様 [該当する項目の記入欄に○を記入し、必要に応じて注意事項等を指摘する。]

床仕様	診 断 項 目	床倍率	2階床	3階床
Ⅰ	合板	1.00	()	()
Ⅱ	火打ち+荒板	0.63	()	()
Ⅲ	火打ちなし	0.39	()	()

● 老朽度 調査部位と診断項目 [存在点数に○を付し、そこに劣化がある場合は劣化点数に○を付す]

部位	材料、 部材等	劣化事象	存在点数		劣 化 点 数			
			築 10 年 未 満	築 10 年 以 上				
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	2			
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある						
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	2			
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	2			
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	4			
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある						
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある						
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある						
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2			
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	/	/	/			
		窯業系サイディング				こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある	1	1
		金属サイディング				変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある		
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある				1	1	
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	/	/	1	1		
内壁	一般室	内壁、窓下	2	2	2			
	浴室	タイル壁	2	2	2			
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある	2	2	2		
床	床面	一般室	2	2	2			
		廊下	/	/	1	1		
	床下	基礎の亀裂や床下部分に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2			
合 計 [○を付した数の合計を記入]								

建物概要

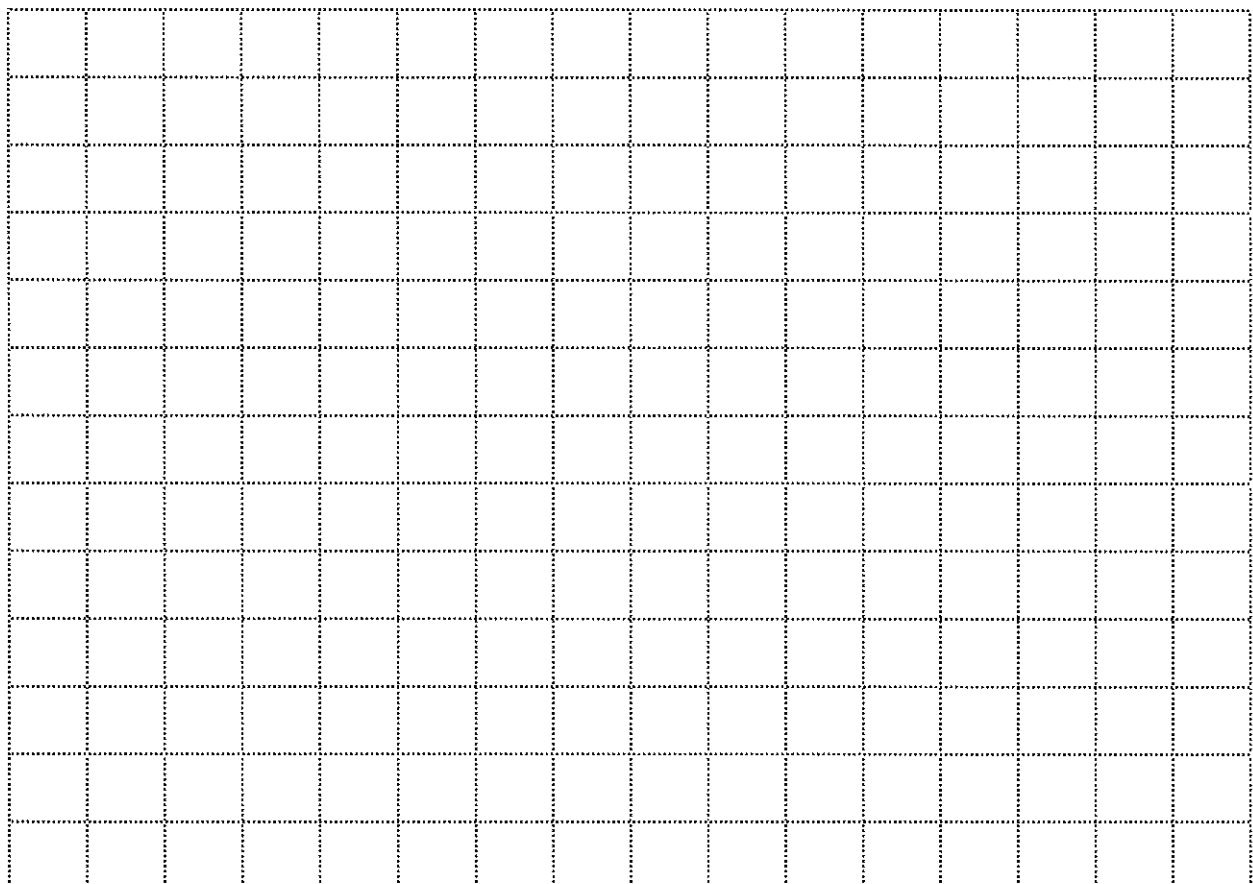
建物名所	:	
所在地	:	
竣工年月日	:	
建物仕様	:	
地域係数 Z	:	
軟弱地盤割増	:	
形状割増係数	:	
積雪深さ	:	(m)
積雪	:	Z
基礎形式	:	
床仕様	:	

主要な柱 :

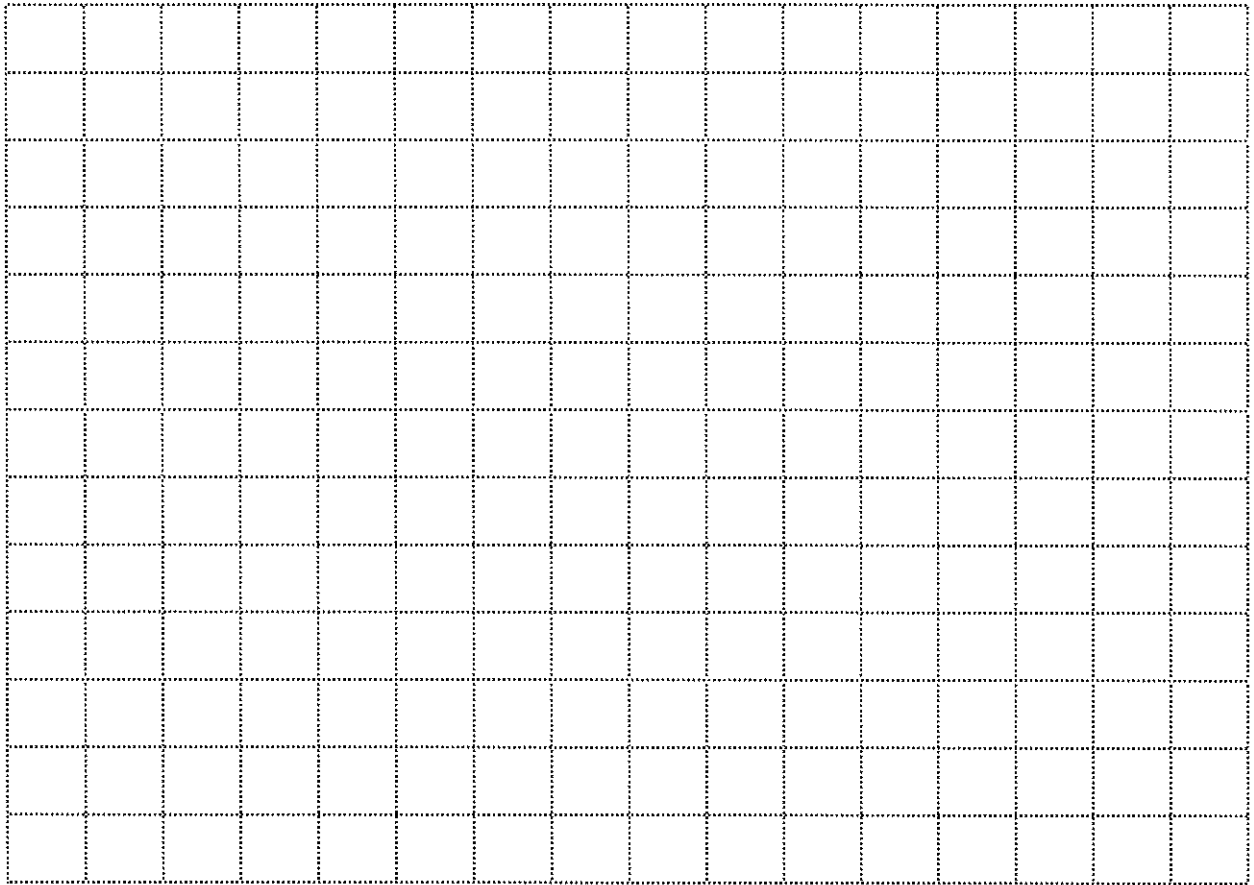
平面図

壁の位置・仕様を平面図に記入します。また、壁の両端の柱の柱頭・注脚の接合の仕様も記入します。
上階が部分的にしかない場合は、わかるように上階の位置を斜線で示します。
平面図中には、X方向・Y方向の全長の1/4に線を引きます。

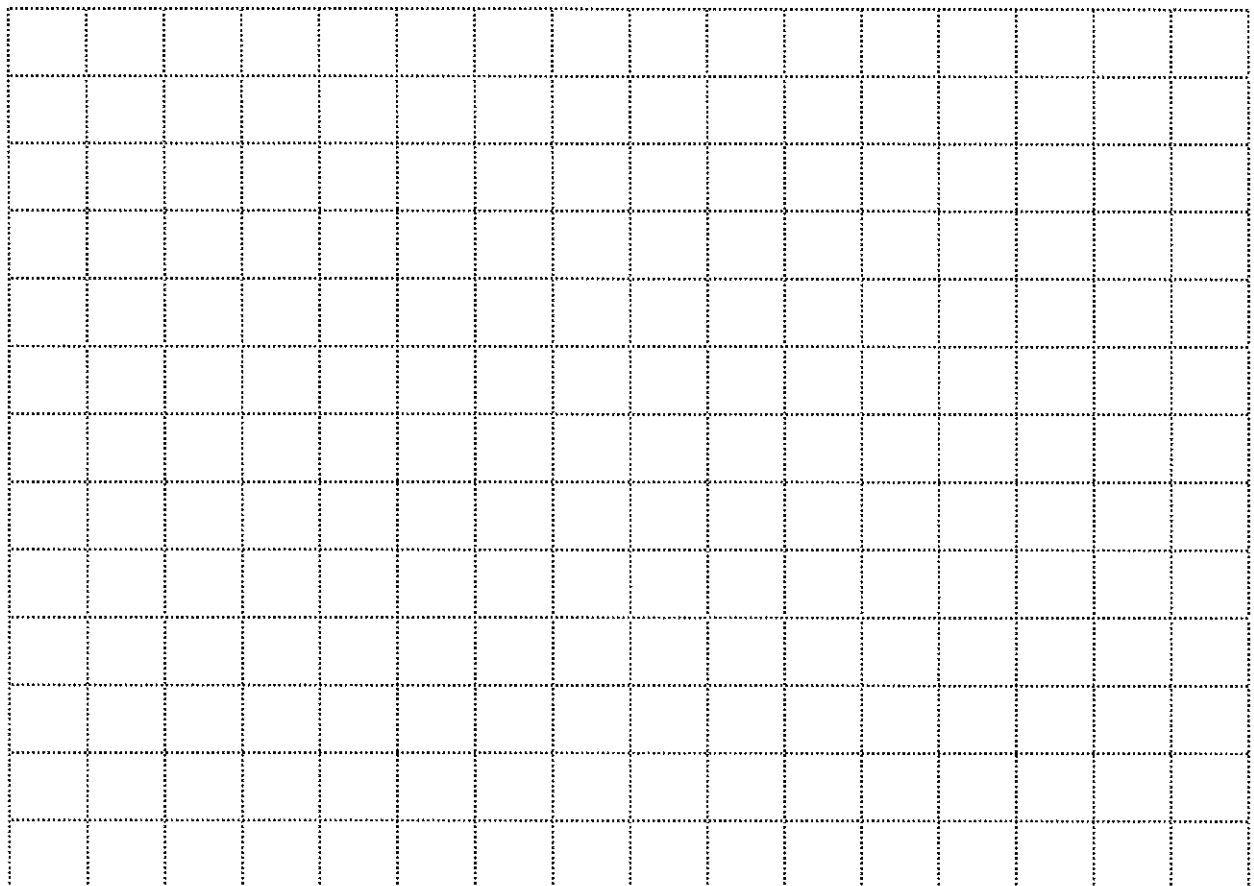
柱頭・柱脚の仕様



平面図(1階)



平面図(2階)



平面図(3階)

建物概要

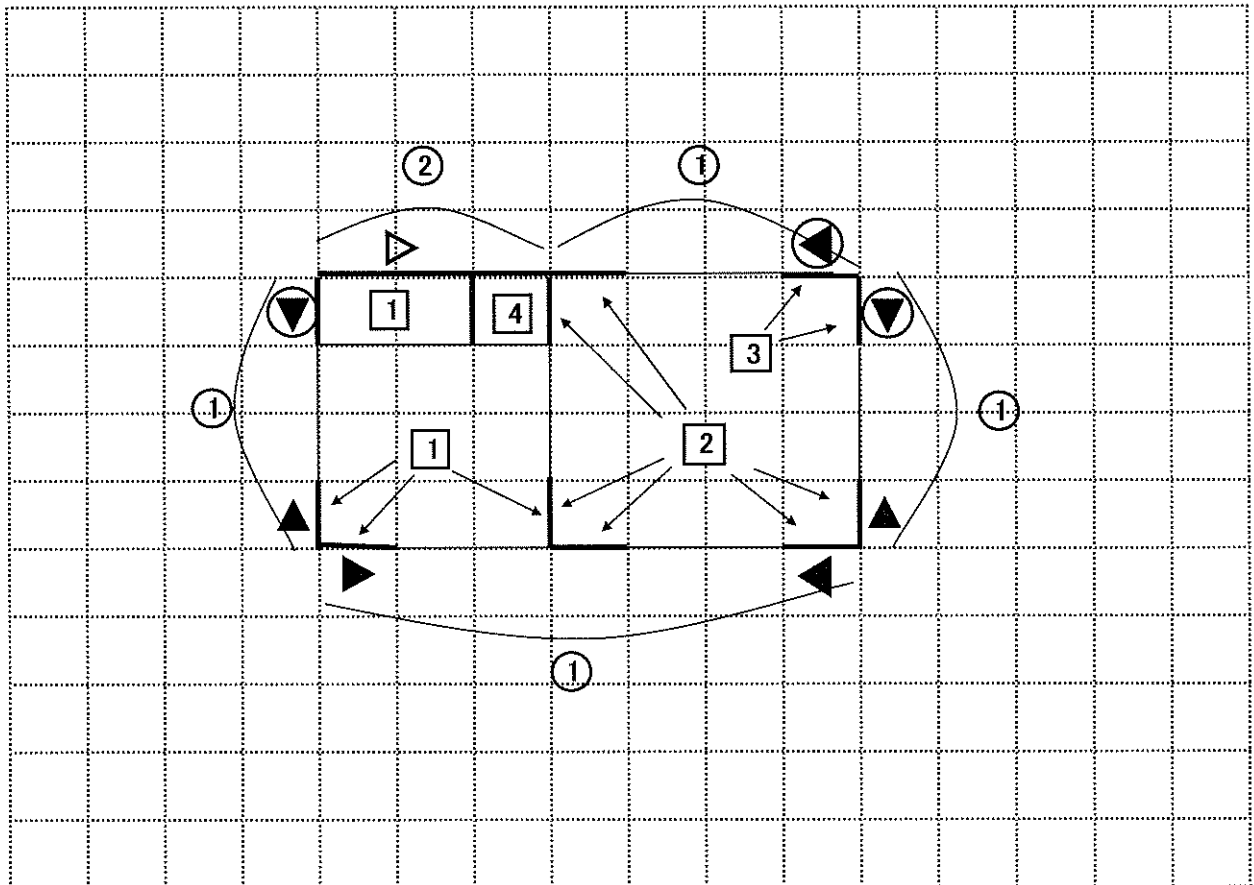
建物名所	:	
所在地	:	
竣工年月日	:	
建物仕様	:	
地域係数 Z	:	
軟弱地盤割増	:	
形状割増係数	:	
積雪深さ	:	(m)
積雪	:	Z
基礎形式	:	
床仕様	:	

主要な柱 :

平面図

壁の位置・仕様を平面図に記入します。また、壁の両端の柱の柱頭・注脚の接合の仕様も記入します。上階が部分的にしかない場合は、わかるように上階の位置を斜線で示します。平面図中には、X方向・Y方向の全長の1/4に線を引きます。

柱頭・柱脚の仕様



平面図(1階)